

## 民生常任委員会行政視察（概要）

### 1 視察日

令和7年5月21日（水）～22日（木）

### 2 視察項目（視察都市）

- ・高齢者施策及び終活支援施策について（茅ヶ崎市）
- ・ヤングケアラー支援対応ガイドラインについて（海老名市）

### 3 参加委員

委員長：青木 順子、副委員長：安孫子浩子

委員：浅野 優子、森本 麗子、大嶺さやか、和田 美紀、塚 理

### 4 調査概要

茅ヶ崎市では、高齢者施策の一つとして、65歳以上の高齢者に優待カードを配布している。これは市内の飲食店、小売店等において当該カードを提示することで商品割引やポイント加算などのサービスを受けられるものである。また、終活支援施策では医療や介護が必要になった時、自分らしい暮らしを選択するために作成しておくエンディングノートを作成・配布しているが、幅広い層に関心を持ってもらう工夫として、地元Ｊリーグのチームと共同作成したり、地元出身歌手の曲名をつけたりするなどの取り組みを行っている。



海老名市では、令和3年からヤングケアラーへの支援を行うための分野横断的な組織を設置し、研修会の開催や実態調査の実施等を行っている。研修会には元ヤングケアラーの方を講師に招き、経験談を聞く機会を設けている。また、こどもは自らＳＯＳを発信しづらい現状があり、周囲の大人の気づきが重要であるとの考えから、独自のアセスメントシートの作成やＬＩＮＥによる相談窓口を設け、ヤングケアラーの支援に取り組んでいる。

### 5 委員長所感

茅ヶ崎市では、シルバー人材センターが運営する生涯現役応援窓口において、相談者の希望に応じ、就労、市民活動等の具体的な活動の場が提供されている。高齢者就労において、シルバー人材センターに登録されている職種は多岐にわたっており、就労機会の確保に加え、高齢者の生きがいに寄与していると感じた。

海老名市では、ヤングケアラーを正しく理解する取り組みとして元ヤングケアラーを講師として講演会を開催したり、相談窓口の相談員としてこどもの気持ちに寄り添った支援を行ったりするなど、必要な支援につながることを目的とした取り組みが丁寧に進められている。ヤングケアラーについて、「理解」、「発見」、「つなぐ」に繋がる大変興味深い取り組みであり参考にしたい。